



平成 20 年 2 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 サクラダ
代表者名 代表取締役社長 曾田 弘道
(コード番号 5917 東証第1部)
問合せ先 執行役員 足立 薫彦
 経理担当部長
(TEL. 047 - 328 - 3145)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年11月16日の「平成20年3月期 中間決算短信」にて公表いたしました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年 3月期通期（連結・個別）業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1)連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年11月16日 発表)	9,450	510	170	1,758
今回修正予想 (B)	8,690	180	140	2,110
増減額 (B - A)	760	330	310	352
増減率	8.0%	64.7%	- %	- %
前期 (平成19年3月期) 実績	5,601	629	943	1,028

(2)個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年11月16日 発表)	9,450	530	330	1,842
今回修正予想 (B)	8,690	200	30	2,220
増減額 (B - A)	760	330	300	378
増減率	8.0%	62.3%	90.9%	- %
前期 (平成19年3月期) 実績	5,601	621	754	838

2. 修正の理由

(連結)

個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想の修正を行うものです。

(個別)

当社は当期におきまして鋭意受注活動に注力し、既に前年度年間の実績を上回る受注を確保しておりますが、受注時期に遅れが出たこと、さらに昨今の当業界に対する鋼材の供給逼迫による材料の入荷が遅れたこと等から生産の遅れが発生し、売上高は7億60百万円減少の86億90百万円となる見込みであります。

損益面につきましては、売上高の減少及び一部の大型物件の収益率が下落したこと等により、営業利益は3億30百万円悪化し2億円となり、経常利益も3億円悪化するものの30百万円の利益を確保できる見込みであります。なおこれに伴い当期純損失は3億78百万円の悪化となり、22億20百万円となる見込みであります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上